

### 【全体概要】

和歌山県で育成された極早生温州「ゆら早生」は、20年ほど前に鹿児島県南薩地域に一部導入されたが、極早生温州の中でも成熟期がやや遅く、鹿児島県の極早生温州の販売戦略と合わなかったため、普及に至らなかった。

近年、極早生温州は品質重視の傾向が強まり、糖度が高くクエン酸とのバランスの良い「ゆら早生」の市場評価が高まっていることから、再度、地域での普及に向け、技術確立や流通関係者との意見交換・連携により、強みのある品種として小規模ではあるが産地育成につなげる。

## 新品種・新技術等の概要

- 品種名：極早生温州「ゆら早生」
- 特性
  - ① 樹姿は開張性で、樹勢は中程度
  - ② 果形は球形に近い
  - ③ 糖度が高く、食味が良好



「ゆら早生」の樹姿・樹勢

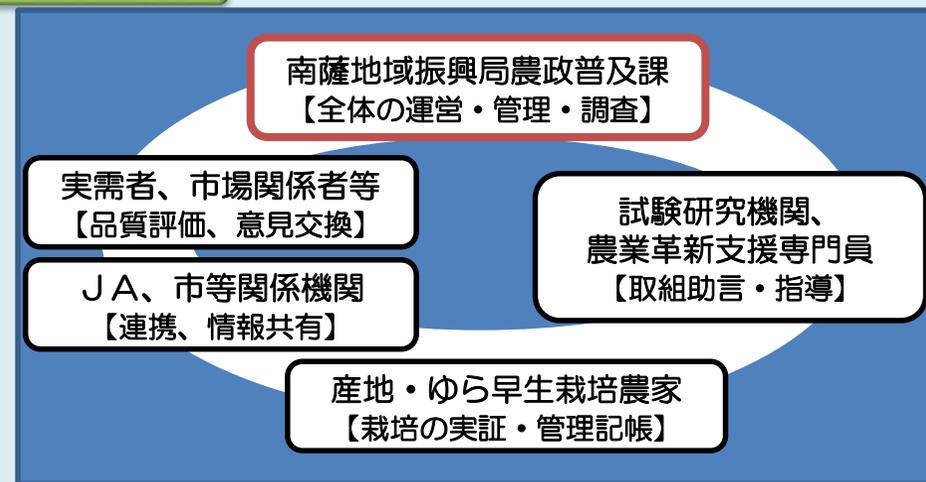


「ゆら早生」の収穫期果実

## 主な取組内容

- 品種の特性把握及び秀品率向上対策の取組
  - ・ 「ゆら早生」の特性把握  
→南薩地域の土壌、気象条件における果実品質確認
  - ・ 現地検討会による栽培農家との情報共有  
→実証ほ設置による着果・果実肥大・品質等調査の実施と情報の共有
  - ・ 南薩地域における「産地育成の手引き」作成
- 実需者・市場関係者との意見交換、先進地研修
  - ・ 実需者とのマッチング活動、情報収集

## 実施体制図



## 実績と今後の展開

- 2か年の実績
  - ・ JA共販量の増加  
22 t (H30) → 33 t (R元)
  - ・ 実需者との意見交換・連携（販路開拓）  
同一店舗への2か年継続出荷及び実需者の評価確認
- 品種の強み（産地、実需者両方の評価一致）
  - ・ 糖度とクエン酸のバランスが良く、食味が高評価
- 今後の展開
  - ・ JA共販量拡大、実需者との連携強化（販路拡大）
  - ・ スタンドバックによる販売提案